

令和4年度第2回高知県子どもの環境づくり推進委員会 会議の概要

1 日程及び議題

日時：令和4年10月2日（日） 10:30～12:00

場所：高知県庁本庁舎2階 第二応接室

議題：（1）子ども条例フォーラムの開催内容について

（2）第9期子ども委員について

2 会議の概要（委員からの主な意見）

事務局説明：（1）子ども条例フォーラムの開催内容について

資 料：【資料1】【参考資料1】【参考資料2】

●事業者から子ども条例フォーラムの概要を説明

<テーマについて>

（案）「将来の夢・未来の私」

「10代でしたいこと・経験したいこと」

「私たちのSDGs行動宣言～2030年の未来のために～」

【目標14】海の豊かさを守ろう 【目標15】陸の豊かさも守ろう」

『支え合いの力』～未来の『高知』を考えよう～」

○目標14・15に絞った理由はあるのか。（委員）

○17個の目標は幅が広く、中には議論の収束が難しいものもあると考える。県としては、子どもたちに身近であり、子どもたちならでは意見がいただけるものとして、目標14・15はどうかと考えている。（事務局）

○目標14・15はとても身近な課題だと思う。その他には、高校生の中にも食べ物に困っているという人がいると思うので、目標2（飢餓をゼロに）も身近なテーマではないか。（委員）

○隠れた貧困という問題もあり、目標1・2も身近な課題になると考えられる。（委員）

○目標14・15は地球環境に関する目標であるため、目標13（気候変動に具体的な対策を）において1つのテーマでより深く議論することもできるのではないか。（委員）

○SDGsのテーマについては、身近な課題であり、このままで良いと思う。

「10代でしたいこと・経験したいこと」については、コロナウイルスの影響により、高校では体育祭・文化祭・修学旅行等が中止になっている。その中で、今年度体育祭が開催できたことに喜びを

感じた。このような思いをしているのは私だけではないと思い、良いテーマであると思う。(委員)

○いろいろな角度から意見が出てくるのではないかと思います、楽しみにしています。(委員)

○SDG s のテーマは、子どもたちの問題関心の面でも良いと思う。また、海の豊かさ・陸の豊かさというテーマの立て方は、他でもなく高知らしさがあり、対の面でも良いと思う。(委員)

○「10代でしたいこと・経験したいこと」のテーマについて、子ども委員さんの意見を聞き、ディスカッションで出た意見を、大人がどう受け止めるかということも大切であると思った。

『支え合いの力』～未来の『高知』を考えよう～のテーマについて、地域共生社会は、「支える」「支えられる」といった一方的でない関係性を目指す社会であるので、双方向の関係性への気づきがあればと思う。ファシリテーターの役割が重要になってくるのではないかと。(委員)

○SDG s のテーマについて、可能であれば目標 1・2 で一つ、目標 14・15 で一つという組み方も面白いのではないかと。(委員)

○SDG s のテーマについて、目標 14・15 は高知県に適しており、良いと思う。また、SDG s において一番大切なことは地球の存続であると思う。このような面からも、海や陸について考えることは良いと思う。(委員)

<講師について>

○以前、安藤桃子氏の講演を聞いたことがあるが、学生にも分かりやすい内容であり、とても面白かった。ただ、中学校・高校での講演も多いので、聞いたことがある人もいると思う。(委員)

○講演のテーマはどのような内容か。(委員)

○映画監督であり、高知の魅力と映画について、将来の夢に繋げていただこうと考えている。また、高知へ I ターンをした理由も踏まえながら、話をしていただければと考えており、以前、安藤氏が「高知の人は野菜をたくさんくれる」などとおっしゃっていたので、「支え合い」のテーマにも絡んだ話をしていただけるのではないかと考えている。幅広く活動しており、SDG s のテーマに絡んだ話をしていただくことも可能であると思う。(委託業者)

○安藤氏のスケジュール上、専門家については、別の方をお願いをすることになるのか。(委員)

○別の方をお願いをする方が良いと思う。どなたをお願いをするか等は、今後県と相談をし、決める

こととする。(委託業者)

<当日のスケジュールについて>

- SDGsのテーマの班は、プレゼンテーションの時間が少し短い可能性がある。テーマを絞ると問題は無いと思う。(委員)
- ファシリテーターの方に、時間内に発表できるよう調整していただければと思う。(委員)
- 決められた時間でどのように伝えるのかも社会経験の一つであると考え、時間については変更せずに行いたい。(委託業者)
- ファシリテーターに対しては、例えば「将来の夢・未来の私」において、ただ夢について語るだけにならないように、その夢を実現するために何をしたいか、何が必要かを話し合うように研修をしている。(委託業者)

<プレゼンテーションの仕方・Webサイト構築について>

- プレゼンテーションの際に模造紙が見える工夫を行った方がよいか、従来どおり話している内容を聞くことの重視でよいか。来年度以降の参加者・一般の方等への情報提供のため、Webサイトの構築に費用を充てる案としているが、プレゼンテーションに費用を使う方がよいかどうかについてご意見をいただきたい。(委託業者)
- 模造紙が見えた方が良い。視覚的に得られる情報が7割、聴覚的に得られる情報が3割と学んだ。(委員)
- ステージで発表する側からすると、見てくれている方が安心して発表できる。(委員)
- 見えた方が良い。聞こえない時があるため。(委員)
- 見えた方が理解が深まる。共感・共有のためにも見えた方がよいのではないかと。(委員)
- プレゼンテーションを見えるようにすることと、Webサイト構築の両方はできないのか。(委員)
- 費用上どちらかになる。(委託業者)
- 後ろまで見えて、情報提供ができた方が良いと思う。(委員)

○自分の携帯やパソコンで見ることができると、費用がかからないのではないか。(委員)

○公式LINEアカウントを作成し、友達登録をしていただき、画像として共有する方法も考えたが、友達登録に抵抗がある人もいたり、携帯画面を見ながらのプレゼンでは、聞くことより見ることが重視されるのではないかと考え、提案しなかった。(委託業者)

○県の持っているWeb上のツールも活用して、二つの提案が成り立てばと思っている。今後、事業者と協議していく。(事務局)

事務局説明：(2) 第9期子ども委員について 資 料：【参考資料3】

●事務局から第9期子ども委員について説明

○子ども委員とは別に子ども委員OB・OG枠を作るのはどうか。子ども委員と大人委員の間の立場としてご意見がいただけるのではないかと。(委員)